

【(有) アラキファーム】

大区画農地への入植と栽培技術の確立⇒環境負荷低減と作業効率化、取引拡大を実現

- ◇集約された大区画ほ場への入植により、**経営規模の拡大と効率的な営農**を実施
- ◇土づくりのための定期的な**土壌調査**に加えて、**おとり作物**や**土壌改良材**による**新技術の実証**により、**環境負荷の低減と安定生産**を実現
- ◇試験的な**新品種の導入**や**連作障害対策**による**単収増加**によって、**売上が増加**

特徴的な取組

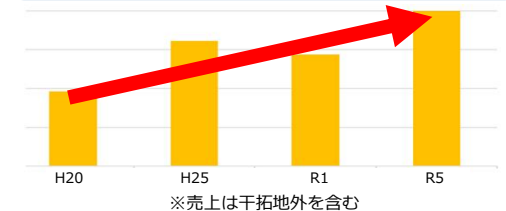
内容

JGAP認証取得

販路拡大

加工・業務用キャベツ専業として、実需者のオーダーに対応し、JGAP認証を取得。信頼の確保だけでなく、新たな販路の拡大も可能に。

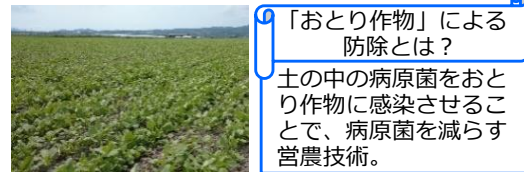
取組により売上が倍増



環境に配慮した営農

おとり作物や新技術の実証

土壌調査に基づく適切な施肥と土壌改良、病害の被害軽減と土づくりを兼ねてのおとり作物（葉だいこん）の作付け、土壌改良材による新技術の実証により環境負荷の低減と安定生産を実現。



おとり作物

大型機械の導入

作業負担の軽減と作業効率の向上

キャベツ収穫機の導入により、腰をかがめていた収穫作業を立ち作業に改善。従業員の負担軽減につながるとともに、作業効率が向上。



収穫機での収穫作業



収穫したキャベツ

今後の方針

JGAPを生かして、外食産業を中心に信頼確保と経営安定を図り、新たな販路を開拓する。作業の効率化のため、農業用機械の導入・更新やドローンの導入により、更なる経営の合理化を目指す。

経営の概要（令和6年9月時点）

- 経営面積 45ha（干拓地内35.6ha）
- 基幹作物（干拓地内／令和5年度）
露地：キャベツ、ブロッコリー、緑肥
- 雇用者数：19名（通年、短期含む）

